

大正九年七月十四日 會議議事

秘

- 一 臺灣總督府官制中改正件
- 一 臺灣總督府地方官官制改正件 (臺灣總督府官制改正件) 修正
- 一 臺灣總督府州知事及臺灣總督府廳長 (臺灣總督府官制改正件) 修正
- 一 文官任用令中改正件
- 一 奏任文官特別任用令中改正件
- 一 臺灣總督府警務視特別任用件

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第一條中「臺灣及澎湖列島ヲ臺灣ニ改ム

第十條中「廳長」ヲ「知事又ハ廳長」ニ改ム

第十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

殖産局ニ營林所及其ノ出張所ヲ置キ總督ノ指定スル國有林野ノ造林ニ關スル事務其ノ國有林野ノ產物ノ採取製造加工及販賣ニ關スル事務並之ニ附帶スル鐵道道路及其ノ鐵道ニ依ル貨客ノ運輸營業ニ關スル事務ヲ掌ラシム

第十九條中「十六人」ヲ「二十人」ニ「四十九人」ヲ「五十人」ニ「四百六十一人」ヲ「四百七十七人」ニ改メ警務官 專任三人 奏任及警視 專任二人 奏任ヲ削リ財務局事務官

一專任三人 奏任ヲ次ニ殖産局事務官 專任一人 奏任ヲ加フ

第二十二條 警務局長ハ總督ノ特ニ命スル場合ニ限リ警察事務ノ執行ニ關シ總督及總務長官ノ命ヲ承ケ廳長、警務部長及警視以下ノ警察官吏ヲ指揮監督ス

第二十六條

蕃務警視ハ蕃務局ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ蕃務ヲ掌ル
蕃務警視ハ蕃務警察事務ノ執行ニ關シ警務局長ノ命ヲ承ケ警部以下ノ警察官
吏ヲ指揮監督ス

第二十六條ノ五 殖産局事務官ハ殖産局ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ殖産局ノ事務ヲ
掌ル

第二十九條ノ二ヲ削ル

第三十一條中其ノ事務ヲ蕃務ニ改ム

第三十一條ノ四中及限疫血清製造所ヲ限疫血清製造所營林所及營林所出張所ニ
改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府營林局官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際臺灣總督府營林局ノ技師書記又ハ技手ニシテ現ニ其ノ職ニ在ル者
別ニ命令書ノ交付ヒラシメントキハ各該技師書記ノ技師局又ハ技手ニ同官等俸
給ヲ以テ任ヒシレタルモノトス

勅令第 號 臺灣總督府地方官官制

第一條 臺灣ニ左ノ州及廳ヲ置ク

臺北州

新竹州

臺中州

臺南州

高雄州

臺東廳

花蓮港廳

州及廳ノ位置及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

第二條 州及廳ニハ通シテ左ノ職員ヲ置ク

知事

五人

勅任

廳長

二人

奏任

事務官 十人

專任二十九人

專任二十一人 兼任

技師師範專任十九人

專任十二人 判任

專任四百六十二人 聘任

警部 專任二百六十一人 判任

授手 專任百八十六人 判任

通 聘 專任二十人 判任

警部補 專任二百九十八人 判任

稅務處 專任百六十二人 聘任

森林主事 專任百四十二人 判任

項職員ノ中知事、事務官及技師ハ州ニ屬長ハ廳ニ之ヲ置ク

理事官ハ臺北州及臺南州ニ在リテハ各專正六人此ノ

見

各廳ニ在勤スル者ハ專任一人、支廳長ニ

是日ニテハ、四人郡ニ配置スル者ハ七人ヲ以テ定ム

在リテハ、總任五人、臺中州及臺南州ニ在リテ

州ニ在リテハ各專任三人ヲ以テ定ムトス

各州及各廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督

高等官官等俸給令第二十三條第三項ノ規定ニ依リ俸

八、技師及特任宣傳給令第六條ノ規定ニ依リ俸給最低額以

二條ノ定具ノ外トス

知事又、廳長、臺灣總督ノ指揮監督ヲ承ケ法令ヲ執

管理ス

知事又ハ廳長ハ部内ノ行政事務ニ付其ノ職權又ハ特

一般又其一部三州今又惠令發

• 100 •

事ハ其ノ強クハ命ヲ三用ス

下
可
一
十
五

和茶ノ書凡ノ所六八〇

古小方外奇方三胡氏外科調則

7 集

内一般又ハ其ノ一部ニ州令又ハ廳令ヲ發スルコトヲ得

知事ハ其ノ發スル命令ニ二月以下ノ懲役若ハ禁錮拘留
七十圓以下ノ罰金又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得
廳長ハ其ノ發スル命令ニ拘留又ハ科料ノ罰則ヲ附スル
コトヲ得

事務官 十人 責任

專任二十九人

專任二十一人 兼任六人

技師專任十九人 兼職六人

專任十二人
判任

專任四百六十二人 聘任

警部 專任二百六十一人 判任

技手 專任百八十六人 判任

通 聘 專任二十人 聘任

專任二百九十八人 判任

稅務吏 專任百六十二人 判任

森林主事 專任百四十二人 判任

項職員ノ中知事、事務官及技師八州、三廳長

北州及藍村州二在

ニシテ各州又ハ各縣ニ王功ハノ

充ツレ者、用人部ニ記入

師ハ臺北州ニ在リテハ其二三

州ニ在リテ、各軍五千人、臺中州及

三、名譽佐三人ヲ以テ定ムトス

名方及名地ニ於ケル位

五、

矢張り、一應長ハ管内ノ靜謐ヲ維持スル

1. *Journal of the American Statistical Association*, 1995, 90, 1011-1027.

第七條 知事又ハ廳長ハ管内ノ靜謐ヲ維持スル爲兵力ヲ要スルトキハ之ヲ要ス

九

總督ニ具狀スヘシ但シ非常急遽ノ場合ニ際シテハ直ニ當該地方ノ陸海軍ノ司令官ニ兵力ノ使用ヲ請求スルコトヲ得

第八條 知事又ハ廳長ハ所部ノ官吏ヲ指揮監督シ兼任官ノ功過ヲ臺灣總督ニ具狀ス

判任官ノ進退ハ知事ハ自ラ之ヲ行ヒ廳長ハ臺灣總督ニ之ヲ具狀ス

第九條 知事ハ郡守市尹又ハ警察署長ノ爲ス處分ニシテ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ處分ヲ取消シ又ハ停止スルコトヲ得

廳長ハ街庄長ノ爲ス處分ニ付テハ前項ノ例ニ依リ之ヲ取消シ又ハ停止スルコトヲ得

第十條 知事事故アルトキハ官等ノ順序ニ從ヒ事務官其ノ職務ヲ代理ス

廳長事故アルトキハ官等ノ順序ニ從ヒ理事官又ハ廳在勤ノ警視其ノ職務ヲ代理ス

又ハ廳ノ高等官ノ一人ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシム

知事又ハ廳長ハ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ部下ノ官吏ヲシテ臨時代理セシムルコトヲ得

第十一條 知事ハ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ郡守市尹又ハ警察署長ニ委任スルコトヲ得

第十二條 州ニ知事官房内務部及警務部ヲ置ク其ノ事務ノ分掌ハ臺灣總督之ヲ定ム

廳ニ於ケル事務ノ分掌ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十三條 事務官ハ内務部又ハ警務部ノ部長ト爲ル知事ノ命ヲ承ケ部ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス

第十四條 警務部長ハ警察及衛生ノ事務ノ執行ニ關シ知事ノ命ヲ承ケ郡守警視警部警部補及巡査ヲ指揮監督ス

第十五條 理事官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十六條 警視ハ上官ノ命ヲ承ケ警察及衛生ノ事務ヲ掌ル部下ノ警部警部補及

巡查ヲ指揮監督ス

第十七條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十八條 視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ノ視察其ノ他教育ニ關スル事務ニ從事ス

第十九條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第二十條 警部ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察及衛生ノ事務ニ從事シ部下ノ警部補及巡查ヲ指揮監督ス

第二十一條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第二十二條 通譯ハ上官ノ指揮ヲ承ケ通譯ニ從事ス

第二十三條 警部補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察及衛生ノ事務ニ從事シ部下ノ巡查ヲ指揮監督ス

第二十四條 稅務吏ハ上官ノ指揮ヲ承ケ徵稅ニ關スル事務ニ從事ス

第二十五條 森林主事ハ上官ノ指揮ヲ承ケ林野ノ取締及保護ニ從事ス

第二十六條 州及廳ニ警察醫ヲ置ク奏任官又ハ判任官ノ待遇トス

ニ在リテハ八人以內トシ其ノ各州及廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督之ヲ定ム

警察醫ハ上官ノ命ヲ承ケ警察及衛生ニ關スル醫務ニ從事ス

第二十七條 州及廳ニ巡查ヲ置ク判任官ノ待遇トス

巡查ニ關スル規程ハ臺灣總督之ヲ定ム

第二十八條 廳長ハ廳ノ事務ヲ分掌セシムル爲臺灣總督ノ認可ヲ受ケ支廳ヲ置クコトヲ得

支廳長ハ警視又ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ

支廳長事故アルトキハ上官官吏其ノ職務ヲ代理ス

第二十九條 市ニ警察署ヲ置ク

知事ハ必要アリト認ムルトキハ警察署ノ下ニ警察分署ヲ置クコトヲ得

警察署ノ名稱位置及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

警察分署ノ名稱位置及管轄區域ハ知事之ヲ定ム

第三十條 警察署長ハ警視警察分署長ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ

巡查ヲ指揮監督ス

第十七條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十八條 視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ノ視察其ノ他教育ニ關スル事務ニ從事ス

第十九條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第二十條 警部ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察及衛生ノ事務ニ從事シ部下ノ警部補及巡查ヲ指揮監督ス

第二十一條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第二十二條 通譯ハ上官ノ指揮ヲ承ケ通譯ニ從事ス

第二十三條 警部補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察及衛生ノ事務ニ從事シ部下ノ巡查ヲ指揮監督ス

第二十四條 稅務吏ハ上官ノ指揮ヲ承ケ徵稅ニ關スル事務ニ從事ス

第二十五條 森林主事ハ上官ノ指揮ヲ承ケ林野ノ取締及保護ニ從事ス

第二十六條 州及廳ニ警察醫ヲ置ク委任官又ハ判任官ノ待遇トス

警察醫ノ定員ハ州及廳ヲ通シテ兼任官待遇者ニ在リテハ六人以内判任官待遇者

ニ在リテハ八人以内トシ其ノ各州及各廳ニ於ケル定員ハ臺灣總督之ヲ定ム

警察醫ハ上官ノ命ヲ承ケ警察及衛生ニ關スル職務ニ從事ス

第二十七條 州及廳ニ巡查ヲ置ク判任官ノ待遇トス

巡查ニ關スル規程ハ臺灣總督之ヲ定ム

第二十八條 廳長ハ廳ノ事務ヲ分掌セシムル爲臺灣總督ノ認可ヲ受ケ支應ヲ置クコトヲ得

支廳長ハ警視又ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ

支廳長事故アルトキハ上席官吏其ノ職務ヲ代理ス

第二十九條 市ニ警察署ヲ置ク

知事ハ必要アリト認ムルトキハ警察署ノ下ニ警察分署ヲ置クコトヲ得

警察署ノ名稱位置及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

警察分署ノ名稱位置及管轄區域ハ知事之ヲ定ム

第三十條 警察署長ハ警視警察分署長ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ

警察署長又ハ警察分署長ハ上官ノ指揮監督ヲ承ケ部内ノ警察及衛生ノ事務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第三十一條 知事ハ徵稅ニ關スル事務ヲ分掌セシムル爲臺灣總督ノ認可ヲ受ケ稅務出張所ヲ置クコトヲ得

稅務出張所長ハ理事官又ハ屬ヲ以テ之ニ充ツ

第三十二條 州ニ郡及市ヲ置ク

郡ノ數ハ四十七市ノ數ハ三トス

郡及市ノ名稱位置及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十三條 郡及市ニハ通シテ左ノ職員ヲ置ク

郡守 四十七人 奏任

市尹 三人 奏任

理事官 專任三人 奏任

視學 專任五十人 判任

前項職員ノ中郡守ハ郡ニ市尹ハ市ニ及理事官ハ市ニ之ヲ置ク

第一項職員ノ外臺北市ニ技師專任一人ヲ置ク奏任トス

臺灣總督ハ州ノ警視警部警部補又ハ巡查ヲ郡ニ配置スルコトヲ得

第三十四條 各市ニ於ケル理事官ノ定員ハ專任一人トス

各郡及各市ニ於ケル視學屬及技手ノ定員ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十五條 第四條ノ規定ハ郡及市ノ技師及技手ノ定員ニ付之ヲ準用ス

第三十六條 郡守又ハ市尹ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ法令ヲ執行シ部内ノ行政事務ヲ掌理シ所部ノ官吏ヲ指揮監督ス

郡守ハ警察及衛生ノ事務ニ關シ郡ニ配置セラレタル警視警部警部補及巡查ヲ指揮監督ス

第三十七條 郡守又ハ市尹ハ其ノ指揮監督スル判任官ノ進退ヲ知事ニ具狀ス

第三十八條 郡守ハ衛生長ノ爲ス處分ニシテ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ

犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ處分ヲ取消シ又ハ停止スルコトヲ得

九

第三十九條 郡守又ハ市尹事故アルトキ其ノ職務ヲ代理スル官吏ハ知事之ヲ指定ス

郡守又ハ市尹ハ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ部下ノ官吏ヲシテ臨時代理セシムルコトヲ得

第四十條 郡又ハ市ニ於ケル事務ノ分掌ハ知事之ヲ定ム

第四十一條 市ノ理事官ハ市尹ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第四十二條 市ノ技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第四十三條 郡又ハ市ノ視學ハ上官ノ指揮ヲ承ケ學事ノ視察其ノ他教育ニ關スル事務ニ従事ス

第四十四條 郡又ハ市ノ尉ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四十五條 郡又ハ市ノ技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第四十六條 郡ニ街又ハ庄ヲ置ク但シ臺灣總督ノ指定スル蕃地ニハ之ヲ置カサルコトヲ得

臺灣總督ハ邊界ノ監視ニ當リ郡又ハ市ヲ置クコトヲ得

街庄ノ名稱及管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

街ニ街長庄ニ庄長ヲ置ク判任官ノ待遇トス但シ街長ハ十人ヲ限リ之ヲ委任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

街庄長ハ上官ノ指揮監督ヲ承ケ街庄内ノ行政事務ヲ補助執行ス

街庄長ニ關スル規程ハ臺灣總督之ヲ定ム

附 則

本令ハ大正九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ街庄ニ關スル規定ハ同年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年勅令第二百十七號ハ大正九年九月三十日限り之ヲ廢止ス

別ニ定ムルモノヲ除ク外他ノ勅令中臺灣總督府ノ應ニ關スル規定ハ州又ハハ應ニ關スル規定トシ廳長ニ關スル規定ハ知事又ハ廳長ニ關スル規定トス

勅令第 號

臺灣總督府州知事ハ其ノ發スル命令ニ二月以下ノ懲役若ハ禁錮、拘留七十圓以下ノ罰金又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

臺灣總督府廳長ハ其ノ發スル命令ニ拘留又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

文官任用令中左ノ通改正ス

第三條ノ二中臺灣總督府營林局長ヲ削ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

委任文官特別任用令中左ノ通改正ス

- 一 臺灣總督府覆審法院書記長ヲ臺灣總督府法院書記長ニ改メ臺灣總督府廳長ヲ
- 一 次ニ臺灣總督府府部掌三臺灣總督府府部掌三臺灣總督府府部掌三臺灣總督府府部掌三
- 一 官三臺灣總督府府部掌三臺灣總督府府部掌三臺灣總督府府部掌三臺灣總督府府部掌三
- 一 東廳理事官ヲ加ヘ臺灣總督府廳事務官ヲ削ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

臺灣總督府蕃務警視ニシテ航空機ニ關スル事務ニ従事スル者ハ陸軍將校又ハ海軍將校ニシテ航空機ニ關スル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ陸軍又ハ海軍ノ現役將校ヲ任用スル場合ニ於テハ其ノ官等ハ高等文官轉任ノ例ニ依ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照

○臺灣總督府官制

明治三十年十月
勅令第362號

第一條 臺灣總督府ニ臺灣總督ヲ置ク

總督ハ臺灣及澎湖列島ヲ管轄ス

第十條 總督ハ知事又ハ廳長ノ命令又ハ處分

ニシテ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯

スモクアリト認ムルトキハ其ノ命令又ハ處

分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第十七條 總督府ニ總督官房ノ外ニ左ニ六局

及一部ヲ置ク

(中略)

通信局ニ測候所及燈臺ヲ附屬セシム
殖産局ニ獸疫血清製造所ヲ置キ獸疫血清ノ
製造及配付ニ関スル事務ヲ掌ラシム
殖産局ニ營林所及其ノ出張所ヲ置キ總督ノ
指定スル國有林野ノ造林ニ関スル事務其ノ
國有林野ノ產物ノ採取製造加工及販賣ニ関
スル事務並之ニ附帶スル鐵道道路及其ノ鐵
道ニ依ル貨客ノ運輸營業ニ関スル事務ヲ掌

第十九條 總督府ニ左ノ職員ヲ置ク

府二

總務長官	一人	勅任
局長	六人	勅任
参事官	專任三人	奏任 四人ノ勅任 為之ト得
事務官	專任十六人	奏任
警務官	專任三人	奏任
警視	專任二人	奏任
蕃務警視	專任三人	奏任
視學官	專任二人	奏任
編修官	專任一人	奏任

通譯	編修書記	視學部	警部	屬	翻譯官	海事官	技師	殖産局事務官	財務局事務官
	專任四百六十八人	四百七十七人			專任二人	專任三人	專任四十九人	專任一人	專任三人
	判任				奏任	奏任	奏任	奏任	奏任

(第二項略)

第二十二條 總督府ニ警務總長ヲ置キ警務局

長ヲ以テ之ニ充ツ

警務總長ハ總督及總務長官ノ命ヲ承ケ警察

及衛生事務ノ執行ニ関シ廳長及警務官以下

ノ警察官ヲ指揮監督ス

警務局長ハ總督ノ特ニ命スル場合ニ限リ警

察事務ノ執行ニ関シ總督及總務長官ノ命ヲ

承ケ廳長警務部長及警視以下ノ警察官吏

ヲ指揮監督ス

第二十六條 警務官及警視ハ警務局ニ属シ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

蕃務警視ハ警務局ニ属シ上官ノ命ヲ承ケ蕃務ヲ掌ル

警務官警視又ハ蕃務警視ハ蕃務警察事務ノ執行ニ関シ警務總長警務局長ノ命ヲ承ケ警部以下ノ警察官吏ヲ指揮監督ス

第二十六條ノ五 殖産局事務官ハ殖産局ニ属シ上官ノ命ヲ承ケ殖産局ノ事務ヲ掌ル

第二十九條ノ二 警務局ニ監察官二人ヲ置キ警視ヲ以テ之ニ充ツ

監察官ハ上官ノ命ヲ承ケ警察事務ノ實況ヲ監察ス

第三十一條 警部ハ警務局ニ属シ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務蕃務ニ従事ス

第三十一條ノ四 測候所燈臺及獸疫血清製造所營林所及營林所出張所ノ名稱及位置ハ總督之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府營林局官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際臺灣總督府營林局ノ技師書記又ハ技手ニシテ現ニ其ノ職ニ在ル者別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ各臺灣總督府ノ技師屬又ハ技手ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

○臺灣總督府營林局官制

大正四年七月
勅令第三百三十一號

第一條 臺灣總督府營林局ハ臺灣總督ノ管理

ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

一 林野ノ造林保護及取締並林業ノ指導獎勵

ニ關スル事項

二 國有林野產物ノ採取製造加工及販賣ニ關

スル事項

三 前各號ニ附帶スル鐵道道路及其ノ鐵道ニ

依ル貨客ノ運輸營業ニ關スル事項

第二條 臺灣總督府營林局ノ左ノ職員ヲ置ク

局長

勅任

事務官

專任二人

奏任

技師

專任七人

奏任

書記

專任二十六人

判任

技手

專任三十人

判任

第三條 局長ハ臺灣總督ノ指揮監督ヲ承ケ局

中一切ノ事務ヲ掌理シ部下ヲ監督ス

第四條 事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌ル

第五條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第六條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第八條 臺灣總督ハ必要ト認ムル地ニ出張所

ヲ置クコトヲ得

出張所長ハ事務官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ
局長ノ指揮監督ヲ承ケ出張所ノ事務ヲ掌ル

(附則 略)

○臺灣總督府地方官官制

明治三十四年十一月
勅令第百二號

第一條 臺灣ニ左ノ廳ヲ置ク其ノ位置及管轄

區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

臺北廳

宜蘭廳

桃園廳

新竹廳

臺中廳

南投廳

嘉義廳

臺南廳

阿維廳

臺東廳

花蓮港廳

澎湖廳

第二條 各廳ヲ通シテ左ノ職員ヲ置ク

廳長 十二人 奏任

事務官 專任二十四人 奏任

警視 專任十七人 奏任

技師 專任十一人 奏任

屬 專任五百六十三人 判任

警部 專任六百五十一人 判任

警部補 專任六百五十一人 判任

視學 專任十二人 判任

技手 專任二百六十八人 判任

通譯 專任二十一人 判任

稅務吏 專任百六十二人 判任

第三條 廳長ヲ除ク、外前條職員ノ各廳ノ定員ハ臺灣總督之ヲ定ム

第四條 廳長ハ臺灣總督ノ指揮監督ヲ受ケ法

律命令ヲ執行シ部内ノ行政事務ヲ管理ス

第五條 廳長ハ部内ノ行政事務ニ終極ノ職權
若ハ特別ノ委任ニ依リ管内一般又ハ其ノ一
部ニ廳令ヲ發シ之ニ拘留又ハ科罰ノ罰則ヲ
附スルコトヲ得

第六條 廳長ハ管内ノ靜謐ヲ維持スル爲メ
要スルトキハ之ヲ臺灣總督ニ具狀スヘシ
但シ非常急變ノ場合ニ際シテハ直ニ其ノ附
近地ノ旅團長若ハ守備隊長ニ出兵ヲ要求ス
ルコトヲ得

第七條 廳長ハ所部ノ官吏ヲ監督シ判任官ノ

進退ヲ臺灣總督ニ具狀ス

第八條 廳長ハ廳中處務ノ細則ヲ設クルコト
ヲ得

第九條 廳長事故アルトキハ部下ノ事務官及
警視又ハ屬及警部中ノ上席者其ノ職務ヲ代
理ス

廳長ハ部下ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ
臨時代理セシムルコトヲ得

第十條 廳中事務ノ分課ハ臺灣總督之ヲ定ム
第十一條 廳長ハ廳ノ事務ヲ分掌セシムル爲

總督ノ認可ヲ經テ文廳ヲ置クコトヲ得
文廳長ハ事務官、警視、属、警部又ハ技手ヲ以テ
之ニ充ツ

第十二條 文廳長事故アルトキハ上席官吏其
ノ職務ヲ代理ス

第十二條ノ二 事務官ハ廳長ノ命ヲ兼ケ廳務
ヲ掌ル

第十二條ノ三 警視ハ廳長ノ命ヲ兼ケ警察ニ
関スル事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督
ス

第十二條ノ四 技師ハ廳長ノ命ヲ兼ケ技術ヲ
掌ル

第十三條 属ハ上官ノ指揮ヲ兼ケ廳務ニ従事
ス

第十四條 警部ハ上官ノ指揮ヲ兼ケ警察ニ関
スル事務ニ従事シ部下ノ巡查及巡查補ヲ指
揮監督ス

警部補ハ警部ノ職務ヲ補助ス

第十四條ノ二 視學ハ上官ノ指揮ヲ兼ケ技術
ニ従事ス

第十五條 技手ハ上官ノ指揮ヲ兼テ技術ニ従事ス

第十六條 通譯ハ上官ノ指揮ヲ兼テ通譯ニ従事ス

第十六條ノ二 稅務吏ハ上官ノ指揮ヲ兼テ徵稅ニ関スル事務ニ従事ス

第十七條 巡查及巡查補ニ関スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條 廳ニ警察醫ヲ置キ兼任官又ハ判任官ノ待遇トス

警察醫ハ警察ニ関スル醫務ニ従事ス

第十九條 廳ニ參事ヲ置クコトヲ得

參事ハ各廳十人以上トシ判任官ノ待遇トス
參事ハ廳管轄内ニ居住シ學識名望アル者ニ就キ廳長之ヲ命ス

第二十條 參事ハ部内ノ行政事務ニ関シ廳長ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フルモノトス
參事ハ廳長ノ命ヲ兼テ事務ニ従事スルコトアルヘシ

○明治四十二年勅令第二百十七號

第一條 臺灣總督府管内街庄社又ハ數街庄社

ニ區長一人區書記若干人ヲ置ク

區長及區書記ハ判任官ノ待遇トス

第二條 區長ハ廳長ノ指揮監督ヲ兼ケ部内ノ

行政事務ヲ補助執行ス

第三條 區書記ハ區長ノ命ヲ兼ケ庶務ニ從事

ス

第四條 區長及區書記ハ廳長之ヲ命免ス

第五條 臺灣總督ハ必要ト認ムルトキハ區長

ヲシテ身元保證ノ為金圓又ハ物件ヲ提供セ
セシムルコトヲ得

第六條 區書記ニハ手當ヲ給ス

區長ニハ事務費ヲ給スルコトヲ得

第七條 本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事
項ハ臺灣總督之ヲ定ム

○文官任用令

大正二年八月
勅令第百六十一號

第三條ノ二 左ニ掲クル勅任文官ハ前二條ノ

規定ニ依ル資格ヲ有セサルモ各其ノ職務ニ
必要ナル學識技能及經驗ヲ有スル者ヨリ高
等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコト
ヲ得

製鐵所長官

(中略)

臺灣總督府專賣局長

臺灣總督府營林局長

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○奏任文官特別任用令

大正九年五月
勅令第百六十號

第一

左ニ掲クル奏任文官ハ五年以上判任以上ノ官
ニ在職シテ行政事務ニ従事シ判任官五級俸以
上ノ俸給ヲ受ケタル者ヨリ高等試験委員ノ銓
衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得

外務省警視

(中略)

臺灣總督府專賣局腦務監督官

臺灣總督府覆審法院書記長

(中略)

臺灣總督府廳長

臺灣總督府郡守

臺灣總督府市尹

臺灣總督府州理事官

臺灣總督府廳理事官

臺灣總督府市理事官

臺灣總督府州警視

臺灣總督府廳事務官

臺灣總督府廳警視

臺灣總督府事務官

關東廳理事官

關東廳警視

(下略)

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照追加

臺灣州制
臺灣廳地方費令
臺南市制
臺灣街庄制

第一條 州ノ名稱及區域ハ國ノ行政區劃ニ依ル

第二條 州ハ法律勅令又ハ律令ニ依リ州ニ屬セシメタル事務ヲ處理ス

第三條 州知事ハ州ノ事務ヲ擔任シ州ヲ代表ス

第四條 州ニ有給ノ吏員ヲ置ク吏員ハ州知事ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

吏員ノ定員ハ臺灣總督之ヲ定メ其ノ任免ハ州知事之ヲ行フ

第五條 官吏ノ州ノ事務ニ關スル職務關係ハ國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ例ニ依ル

第六條 州ニ會計役ヲ置キ官吏又ハ吏員ニ就キ州知事之ヲ命ス

會計役ハ州ノ會計事務ヲ掌ル

第七條 州知事ハ州ノ事務ニ關シ其ノ職務ノ一部ヲ都市街庄ノ官吏又ハ吏員ニ補助執行セシメ又ハ委任スルコトヲ得

第八條 州知事ハ州ノ事務ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ吏員ニ臨時代理セシムルコトヲ得

第九條 州知事ハ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ議決二十五回
以下ノ過怠金及解職トス

州知事ハ吏員ノ懲戒處分ヲ行ハムトスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命スルコトヲ得
其ノ停職期間給料ノ全部又ハ一部ヲ給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ留職セラレタル者ハ二年間州ノ公職ニ任命セララルコトヲ得ス

第十條 州ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ吏員ニ付退職料退職給與金死亡給與金
又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第十一條 州知事ハ臺灣總督ノ許可ヲ受ケ州ニ常設又ハ臨時ノ委員ヲ置クコト
ヲ得

委員ハ名譽職トシ州ニ住所ヲ有スル者ニ就キ州知事之ヲ命ス
委員ハ州知事ノ指揮監督ヲ承ケ委任ヲ受ケタル事務ニ従事ス

第十二條 州ノ事務ニ關シ州知事ノ諮問ニ應セシムル爲州ニ協議會ヲ置ク

協議會ハ州知事及協議會員ヲ以テ之ヲ組織ス

協議會員ノ定員ハ二十人以上五十人以下ニ爲ス

第十三條 州知事ハ州ニ關スル左ノ事件ヲ協議會ニ諮問スハシ但シ急務ヲ要シ
協議會ニ諮問スル暇ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 歳入出豫算ヲ定ムルコト但シ豫算ノ追加更正ニシテ州稅使用料又ハ手數
料ニ増減變更ナキモノヲ除ク

二 州稅使用料手數料又ハ夫役現品ノ賦課徴收ニ關スルコト

三 第二十九條第一項ノ借入金ニ關スルコト

四 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利
ノ拋棄ヲ爲スコト

五 繼續費ノ定メ又ハ變更スルコト

六 基本財産及積立金等ノ設置管理及處分ニ關スルコト

七 第四十一條ノ財産ノ處分ニ關スルコト

第十四條 協議會員ハ州ニ住所ヲ有シ學識名望アル者ニ就キ臺灣總督之ヲ命ス
協議會員ハ名譽職トス

協議會員ノ任期ハ二年トス但シ補闕ノ協議會員ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期
間トス

第十五條 協議會員職務ヲ怠リ又ハ體面ヲ汚損スル行爲アリタルトキハ臺灣總
督ハ之ヲ解任スルコトヲ得

第十六條 名譽職員ハ職務ノ爲ニ要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

第十七條 州ハ基本財産又ハ積立金設テ之ヲ設クルコトヲ得

第十八條 州ハ公益上必要ナル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第十九條 州ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令又ハ法令ヲ以テ州ノ負擔ニ屬セシ
メタル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第二十條 州ノ費用ハ州稅州ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料其ノ他ノ收入
ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二十一條 法律勅令又ハ法令ニ規定アルモノノ外州ノ費用ヲ以テ支辨シ得ル
費目左ノ如シ

- 一 土木費
- 二 教育費
- 三 衛生費
- 四 勸業費
- 五 社會事業費
- 六 營繕費
- 七 協議會費
- 八 州費用取扱費
- 九 第二十二條 州稅トシテ賦課シ得ルモノ左ノ如シ
- 一 地租附加稅
- 二 所得稅附加稅
- 三 戶稅
- 四 營業稅
- 五 雜種稅

戸税ハ構戸者コリ之ヲ徴收ス

營業税及雜種税ノ種類ハ臺灣總督之ヲ定ム

第二十三條 州ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市街庄ニ分賦スルコトヲ得

第二十四條 州ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徴收スルコトヲ得

州ハ特定人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第二十五條 州ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ノ爲特別ノ必要アルトキハ夫役又ハ現品ヲ賦課スルコトヲ得

第二十六條 州ニ屬スル徴收金ハ國稅總額處分ノ例ニ依リ之ヲ徴收スルコトヲ得
前項ノ徴收金ニ付テハ國ニ屬スル徴收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徴及還付ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第二十七條 州稅使用料、手数料及夫役現品並其ノ賦課徴收ニ關スル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

第二十八條 使用料及手数料ハ同一ノ規則ハ州知事之ヲ定ム

細則中ニハ五圓以下ノ材料ヲ自スル規定ヲ設クルコトヲ得

細則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二十九條 州ハ永久ノ利益ト爲ルヘキ事業、舊債償還又ハ天災事變ノ爲必要ナル場合ニ限リ臺灣總督ノ許可ヲ受ケ借入金ヲ爲スコトヲ得

州ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲必要アルトキハ臺灣總督ノ許可ヲ受ケ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキ一過ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第三十條 州ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調査シ年度開始四月前迄ニ臺灣總督ニ提出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

州ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第三十一條 州ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ之ヲ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後三月以内ニ臺灣總督ニ之ヲ報告スヘシ

第三十二條 州ノ費用ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ其ノ年間各年度ノ支出額ノ定ムル繼續費ト爲スコトヲ得

第三十三條 州ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

臺灣廳地方費令

第一條 臺東廳及花蓮港廳ノ管轄區域ヲ通シテ廳地方費ヲ設ク

廳地方費ハ臺灣總督之ヲ管理ス

第二條 廳地方費ニ關シテハ臺灣州制第二條、第五條、第十七條乃至第二十二條、第二十四條乃至第三十四條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス但シ同律令第二十八條及第四十一條中州知事トアルハ廳長トス

廳地方費ノ出務ニ關スル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

附 則

本令施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

市制

第一條 市ノ名稱及區域ハ國ノ行政區劃ニ依ル

第二條 市ハ法律勅令又ハ律令ニ依リ市ニ屬セシメタル事務ヲ處理ス

第三條 市尹ハ市ノ事務ヲ擔任シ市ヲ代表ス

第四條 市役所ノ位置ハ州知事ノ認可ヲ受ケ市尹之ヲ定ム

第五條 市ニ有給ノ吏員ヲ置ク吏員ハ市尹ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

吏員ノ定員ハ州知事之ヲ定ム其ノ任免ハ市尹之ヲ行フ

第六條 官吏ノ市ノ事務ニ關スル職務關係ハ國ノ行政ニ關スル其ノ職務關係ノ

例ニ依ル

第七條 市ニ會計役ヲ置キ官吏又ハ吏員ニ就キ市尹之ヲ命ス

會計役ハ市ノ會計事務ヲ掌ル

第八條 市尹ハ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以

下ノ過怠金及解職トス

市尹ハ吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命スルコトヲ得其ノ停

職期間給料ノ全部又ハ一部ヲ給セサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間市街庄ノ公職ニ任命セラレルコトヲ得ス

第九條 市ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ吏員ニ付退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第十條 市ハ州知事ノ許可ヲ受ケ市ニ常設又ハ臨時ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トシ市ニ住所ヲ有スル者ニ就キ市尹之ヲ命ス

委員ハ市尹ノ指揮監督ヲ承ケ委託ヲ受ケタル事務ニ従事ス

第十一條 市ノ事務ニ關シ市尹ノ諮問ニ應ジシムル爲市ニ協議會ヲ置ク

協議會ハ市尹及協議會員ヲ以テ之ヲ組織ス

協議會員ノ定員ハ十五人以上三十人以下ノ範圍内ニ於テ臺灣總督之ヲ定ム

協議會ハ市尹ヲ以テ議長トス

第十二條 市尹ハ市ニ關スル左ノ事件ヲ協議會ニ諮問スヘシ但シ急施ヲ要シ協

議會ニ諮問スル限リトシ但シ市尹ハ先ノ限ニ在ルヲ得

一 歳入出豫算ヲ定ムルコト但シ豫算ノ追加更正ハシテ市役使用料又ハ手数料

額ニ増減變更ナキモノヲ除ク

二 市條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

三 市役使用料、手数料又ハ夫役現品ノ賦課徴收ニ關スルコト

四 第二十七條第一項ノ借入金ニ關スルコト

五 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利

ノ拋棄ヲ爲スコト

六 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

七 基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關スルコト

八 第三十九條ノ財産ノ處分ニ關スルコト

第十三條 協議會員ハ市ニ住所ヲ有シ學識名望アル者ニ就キ州知事之ヲ命ス

協議會員ハ名譽職トス

協議會員ノ任期ハ二年トス但シ補選ノ協議會員ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期

間トス

第十四條 協議會員職務ヲ怠リ又ハ體面ヲ汚損スル行爲アリタルトキハ州知事ハ之ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 名譽職員ハ職務ノ爲ニ要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

第十六條 市ハ基本財産又ハ積立金等ヲ設クルコトヲ得

收得ノ爲ニスル市ノ財産ハ基本財産トシテ之ヲ維持スヘシ

第十七條 市ハ公益上必要アル場合ニ於テハ州知事ノ許可ヲ受ケ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第十八條 市ハ其ノ必要ナル費用及法律、勅令又ハ法令ヲ以テ市ノ負擔ニ屬セシメタル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第十九條 市ノ費用ハ市税、市ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二十條 法律、勅令又ハ法令ニ規定アルモノノ外市ノ費用ヲ以テ支辨シ得ル費目左ノ如シ

一 市員ノ給與其ノ他ノ市役所費

二 土木費

三 教育費

四 衛生費

五 勸業費

六 社會事業費

七 營繕費

八 協議會費

九 市費用取扱費

第二十一條 市税トシテ賦課シ得ルモノ左ノ如シ

一 國稅又ハ州稅ノ附加稅

二 特別稅

第二十二條 市ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

市ハ特定人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十三條 市ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ノ爲特別ノ必要アルトキハ夫役又ハ

現品ヲ賦課スルコト得

一八

第二十四條 市ニ屬スル徵收金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得
前項ノ徵收金ニ付テハ州又ハ廳地方費ニ屬スル徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ
其ノ追徴及還付ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第二十五條 市稅、使用料、手数料及夫役現品並其ノ賦課徵收ニ關スル事項ハ臺灣
總督之ヲ定ム

第二十六條 市ハ特別稅、使用料及手数料ニ關スル事項ニ付テハ臺灣總督ノ認可
ヲ受ケ市條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

市ハ營造物ノ使用ニ付臺灣總督ノ認可ヲ受ケ市條例ヲ設クルコトヲ得
市條例中ニハ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

市條例ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二十七條 市ハ永久ノ利益トナルヘキ事業、舊債償還又ハ天災事變ノ爲必要
ナル場合ニ限リ臺灣總督ノ許可ヲ受ケ借入金ヲ爲スコトヲ得

市ノ收入ヲ以テ償還スヘキ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 市ハ毎會計年度歲入出豫算ヲ調製シ年度開始二月前迄ニ州知事ニ
提出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第二十九條 市ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ之ヲ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後二月以内ニ州知事ニ之ヲ報告スヘシ

第三十條 市ノ費用ヲ以テ支拂スル事件ニシテ數年ヲ期シ其ノ費用ヲ支出スヘ
キモノハ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ總積費ト爲スコトヲ得

第三十一條 市ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第三十二條 市ノ收入金及支拂金ニ關スル時款ニ付テハ政府ノ收入金及支拂金
ノ例ニ依ル

第三十三條 協議會及協議會員ニ關スル事項費用、雜費、給料、旅費其ノ他給與ニ關
スル事項、賠償責任、元保證其ノ他吏員ニ關スル事項、職務ニ關スル事項ハ臺
灣總督之ヲ定ム

一九

第三十四條

州知事ハ市街庄ノ事務ノ一部ヲ共同處理セシムル爲市街庄組合設置ノ必要アリト認ムルトキハ其ノ管理方法及費用負擔方法ヲ定メ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ市街庄組合ヲ設クルコトヲ得

第三十五條

市街庄組合ニハ市ニ關スル規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項及必要ナル事項ニ付テハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十六條

市ノ事務ハ第一次ニ於テ州知事第二次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督スコトヲ得

第三十七條

監督官廳ハ市ノ事務ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲ス

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ市ノ事務ノ監督ニ關シテ發シタル命令又ハ爲シタル處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第三十八條

州知事ハ市ニ於テ法律、勅令又ハ律令ヲ以テ其ノ負擔ニ屬セシメタル費用又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキ又ハ豫算中不適當ト認ムル費用アルトキハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加ヘ又ハ削減スルコトヲ得

第三十九條

市ノ廢置分合又ハ區域變更ニ依リ必要アルトキハ州知事ハ關係市尹街庄長ノ意見ヲ徵シ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ市街庄ノ財産ノ處分ヲ爲スコトヲ得

附則

本令施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

臺灣街庄制

第一條

街又ハ庄ノ名稱及區域ハ國ノ行政區劃ニ依ル

第二條

街庄ハ法律勅令又ハ律令ニ依リ街庄ニ屬セシメタル事務ヲ處理ス

第三條

街庄長ハ街庄ノ事務ヲ擔任シ街庄ヲ代表ス

第四條

街庄役場ノ位置ハ州知事又ハ廳長ノ認可ヲ受ケ街庄長之ヲ定ム

第五條

街庄ニ助役及會計役各一人ヲ置ク但シ街庄長ハ廳長又ハ郡守ノ許可ヲ受ケ助役ヲ置カス又ハ其ノ定數ヲ増加スルコトヲ得

特別ノ事情アル街庄ニ於テハ州知事又ハ廳長ハ專任ノ會計役ヲ置カス街庄長

又ハ街庄吏員ヲシテ之ヲ兼ネシムルコトヲ得

街庄長及助役ハ名譽職トス但シ街庄ハ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受ケ之ヲ有給ト爲スコトヲ得

助役ハ州知事又ハ廳長之ヲ任免ス

街庄長及助役ノ任期ハ四年トス

會計役ハ有給トス州知事又ハ廳長之ヲ任免シ其ノ任期ハ四年トス

第六條 前條ニ定ムル者ノ外街庄ニ有給ノ吏員ヲ置クコトヲ得

前項ノ吏員ハ街庄長ノ具狀ニ依リ廳長又ハ郡守之ヲ任免ス

第七條 助役ハ街庄長ノ事務ヲ補助ス

街庄長事故アルトキハ助役其ノ職務ヲ代理ス助役數人アルトキハ街庄長ノ豫メ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス但シ助役ヲ置カサル街庄ニ在リテハ上席ノ吏員之ヲ代理ス

第八條 會計役ハ街庄ノ會計事務ヲ掌ル

街庄長ハ會計役事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理セシムヘキ吏員ヲ定メ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 第六條ノ吏員ハ街庄長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

第十條 街庄長又ハ吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國、州其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ノ執行ニ要スル費用ハ街庄ノ負擔トス但シ法令中別段ノ定メアルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 郡守又ハ廳長ハ助役及會計役ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

廳長又ハ郡守ハ第六條ノ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得

前二項ノ懲戒處分ハ罰金二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

州知事廳長又ハ郡守ハ吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ吏員ノ停職ヲ命スルコトヲ得

停職ニ依リ解職セラルタル者ハ二年間市街庄ノ公職ニ任命セラルコトヲ得

第十二條 街庄ハ臺灣總督ノ定ムル所ニ依リ有給ノ吏員ニ付退職料退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第十三條 街庄ノ事務ニ關シ街庄長ノ諮問ニ應セシムル爲メ街庄ニ協議會ヲ置ク

協議會ハ街庄長及協議會員ヲ以テ之ヲ組織ス

協議會員ノ定員ハ七人以上二十人以下ノ範圍内ニ於テ臺灣總督之ヲ定ム

協議會ハ街庄長ヲ以テ議長トス

第十四條 街庄長ハ街庄ニ關スル左ノ事件ヲ協議會ニ諮問スヘシ但シ急遽ヲ要シ協議會ニ諮問スル暇ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 歳入出豫算ヲ定ムルコト但シ豫算ノ追加更正ニシテ街庄税使用料又ハ手数料ニ増減變更ナキモノヲ除ク
- 二 街庄條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト
- 三 街庄税使用料手数料又ハ夫役現品ノ賦課徴收ニ關スルコト
- 四 第三十條第一項ノ借入金ニ關スルコト
- 五 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲スコト
- 六 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト
- 七 基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關スルコト
- 八 第四十二條ノ財産ノ處分ニ關スルコト
- 第十五條 協議會員ハ街庄ニ住所ノ有シ學識名望アル者ニ就キ州知事又ハ廳長之ヲ命ス
- 協議會員ハ名譽職トス

トス

- 第十六條 協議會員職務ヲ怠リ又ハ體面ヲ汚損スル行為アリタルトキハ州知事又ハ廳長ハ之ヲ解任スルコトヲ得
- 第十七條 名譽職員ハ職務ノ爲ニ要スル費用ノ貸借ヲ受ルコトヲ得
- 第十八條 街庄ハ基本財産又ハ積立金穀等ヲ設ケルコトヲ得
- 州知事又ハ廳長ハ必要ト認ムルトキハ基本財産又ハ積立金穀等ノ設置ヲ命スルコトヲ得
- 第十九條 街庄ハ舊來ノ慣行アル場合ニ限リ廳長又ハ郡守ノ認可ヲ受ケ營造物ヲ特殊ノ者ヲシテ使用セシムルコトヲ得
- 前項ノ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ街庄ハ之ヲ許可スルコトヲ得
- 第二十條 街庄ハ公道上必要アル場合ニ於テハ廳長又ハ郡守ノ許可ヲ受ケ需用又ハ補助ヲ爲スコトヲ得
- 第二十一條 街庄ハ其ノ必要ナル費用及法律、勅令又ハ法令ヲ以テ街庄ノ負擔ニ

馬車、メタル費用ヲ支拂スル義務ヲ負フ

第二十二條 街庄ノ費用ハ街庄役、街庄ノ財產ヨリ生スル收入、使用料、手数料其ノ他ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二十三條 法律、勅令又ハ律令ニ規定アルモノノ外、街庄ノ費用ヲ以テ支辨シ得ル費目左ノ如シ

- 一 有給ノ街庄長及吏員ノ給料其ノ他ノ街庄役場費
- 二 土木費
- 三 教育費
- 四 衛生費
- 五 勸業費
- 六 社會事業費
- 七 營繕費
- 八 協議會費

第二十四條 街庄役トシテ賦課シ得ルモノ左ノ如シ

一 國稅、州稅又ハ廳地方費稅ノ附加稅

二 特別稅

第二十五條 街庄ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

街庄ハ特定人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ノ徵收スルコトヲ得

第二十六條 街庄ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ノ爲特別ノ必要アルトキハ夫役又ハ埋品ノ賦課スルコトヲ得

第二十七條 街庄ニ屬スル徵收金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ徵收金ニ付テハ州又ハ廳地方費ニ屬スル徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徴及還付ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第二十八條 街庄稅使用料、手数料及夫役埋品費其ノ賦課徵收ニ關スル事項ハ臺閣總督之ヲ定ム

第二十九條 街庄ハ特別稅使用料及手数料ニ關スル事項ニ付テハ臺閣總督ノ認

可ヲ受ケ街庄條例ヲ以テ之ヲ規定スハシ

街庄ハ營造物ノ使用ニ付臺灣總督ノ認可ヲ受ケ街庄條例ヲ設クルコトヲ得

街庄條例中ニハ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

街庄條例ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スハシ

第三十條 街庄ハ永久ノ利益ト爲ルヘキ事業、舊債償還又ハ天災事變ノ爲必要ナル場合ニ限リ臺灣總督ノ許可ヲ受ケ借入金ヲ爲スコトヲ得

街庄ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲必要ナルトキハ州知事又ハ廳長ノ許可ヲ受ケ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 街庄長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ年度開始二月前迄ハ廳長又ハ郡守ニ提出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

街庄ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第三十二條 街庄ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ之ヲ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ハ廳長又ハ郡守ニ之ヲ報告スヘシ

第三十三條 街庄ノ費用ヲ以テ支拂タル事件ニシテ數年ノ間シ其ノ費用ヲ支出

スヘキモノハ其ノ年間各年度ノ支出額ノ定メ續續費ト爲スコトヲ得

第三十四條 街庄ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 街庄ノ收入、金及支拂金ニ關スル時效ハ付テハ政府ノ收入金及支拂

金ノ例ニ依ル

第三十六條 協議會及協議會員ニ關スル事項、費用、俸給、手當、給料、旅費其ノ他給與

ニ關スル事項賠償責任、身元保證其ノ他吏員ニ關スル事項、職務ニ關スル事項

ハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十七條 州知事又ハ廳長ハ街庄ノ事務ノ一部ノ共同處理セシムル爲街庄組

合設置ノ必要アリト認ムルトキハ其ノ管理方法及費用負擔方法ヲ定メ臺灣總

督ノ認可ヲ受ケ街庄組合ヲ設クルコトヲ得

第三十八條 街庄組合ニハ街庄ニ關スル規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項及必

要ナル事項ニ付テハ臺灣總督之ヲ定ム

第三十九條 街庄ノ事務ハ州ニ在リテハ第一次ニ於テ郡守、第二次ニ於テ州知事、

第三次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ廳ニ在リテハ第一次ニ於テ廳長、第二次ニ於

テ臺灣總督之ヲ監督ス

第四十條 監督官廳ハ街庄ノ事務ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ街庄事務ノ監督ニ關シテ發シタル命令又ハ爲シタル處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第四十一條 廳長又ハ郡守ハ街庄ニ於テ法律、勅令又ハ律令ヲ以テ其ノ負擔ニ屬セシメタル費用又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキ又ハ豫算中不適當ト認ムル費用アルトキハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加ヘ又ハ削減スルコトヲ得

第四十二條 街庄ノ廢置分合又ハ區域變更ニ依リ必要アルトキハ州知事又ハ廳長ハ關係街庄長ノ意見ヲ徵シ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ街庄ノ財産ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 本令ハ臺灣總督ノ指定スル地域ニハ之ヲ施行セス

附 則

本令施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

秘

臺灣總督府官制中改正ノ件外五件

審査報告

謹テ今回御諮詢ノ臺灣總督府官制中改正ノ件
外五件ヲ審査スルニ各件ノ要旨左ニ開陳スル
所ノ如シ

第一 臺灣總督府官制中改正ノ件

(一) 現行規定ニ於テハ臺灣總督府ノ管轄區域
トシテ臺灣及澎湖列島ヲ連記セルモ澎湖
列島ハ地理上臺灣ノ一部ニシテ特ニ之ヲ
掲タルノ必要ナキカ故ニ本案ニ於テハ之

ヲ削除ス(第一條)是レ單ニ措辭ノ整理ニ外
ナラサルコト勿論ナリ

(二)別案改正ニ係ル臺灣總督府地方官官制ニ
於テ上級ノ地方廳ヲ五州及二廳ト為シ其
ノ長官ヲ知事及廳長ト為スニ伴ヒ總督力
廳ノ命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコ
トヲ得ルノ規定ヲ擴ケテ知事ノ命令及處
分ニ及ホシ總督ハ所定ノ場合ニ於テ知事
ノ命令又ハ處分ヲモ停止シ又ハ取消スコ
トヲ得ルモノトス(第十條)

台二

(三)從來臺灣總督府ノ外ニ總督ノ管理ニ屬ス
ル臺灣總督府營林局ナル官署ヲ置キ之ヲ
シテ林業ノ指導獎勵國有林野ノ造林保護
及取締國有林野產物ノ採取及販賣國有林
野ノ經營ニ附帶スル鐵道道路及其ノ鐵道
ニ依ル貨客ノ運輸營業ニ關スル事項ヲ掌
理セシメタルモ今回事務整理ノ趣旨ニ基
キ前記ノ營林局ヲ廢シテ(附則第二項)其ノ
事務ヲ總督府内ノ殖産局ニ移シ林業ノ指
導獎勵其ノ他監理ニ屬スル事務ハ同局ニ

於之ヲ掌理セシメ別ニ同局ニ管林所及其ノ出張所ヲ附置シテ總督ノ指定スル國有林野ノ造林其ノ他現業ニ屬スル事務ヲ掌理セシメ(第十七條第四項)管林所及其ノ出張所ノ名稱及位置ハ總督之ヲ定ム(第三十一條ノ四)右事務ノ移動ニ伴ヒ總督府ノ事務官、技師、屬及技手ノ定員ヲ若干増加スルノ外新ニ殖産局事務官奏任專任一人ヲ置キ殖産局ニ屬レ上官ノ命ヲ承ケテ局務ヲ掌ラシム(第十九條及第二十六條ノ五)而

シテ經過規定トレテ本令施行ノ際管林局ノ技師、書記又ハ技手ニシテ現ニ其ノ職ニ在ル者別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ夫々總督府ノ技師、屬又ハ技手ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス(附則第三項)

(四) 今回臺灣ニ於ケル地方官官制ノ改正ニ際シテ警察ノ制度ニ變更ヲ加ヘ警察事務ノ執行ハ主トシテ地方廳ヲシテ之ヲ擔當セシムルコトト為スノ結果從來總督府ニ警

務總長ヲ置キ警務局長ヲ以テ之ニ充テ一
切ノ場合警察及衛生事務ノ執行ニ關シ廳
長及警察官ヲ指揮監督セシムルコトヲ止
メテ警務局長ハ總督ノ特命アル場合ニ限
リ警察事務ノ執行ニ關シ廳長、警務部長及
警視以下ノ警察官吏ヲ指揮監督スルモノ
トシ(第二十二條)總督府ノ警務官ヲ改メテ
事務官ト爲シ警視ノ官及監察官ノ職ヲ廢
シ(第十九條、第二十六條及第二十九條ノ二)
舊務警視ヲ存シテ舊務ヲ掌理セシメ且舊

務警察事務ノ執行ニ關シ警部以下ノ警察
官吏ヲ指揮監督セシメ(第二十六條)警部ハ
專ラ舊務ニ従事セシムルモノトス(第三十
一條)

(五) 以上警林局ノ事務ノ移管、警察ニ關スル制
度ノ變更及地方官官制ノ改正ノ結果總督
府職員ノ定員ニ増減アリ前記殖産事務
官ノ新置並警務官專任三人及警視專任二
人ノ削減ノ外増減ヲ差引キ事務官ニ於テ
專任四人、技師ニ於テ專任一人、屬以下ノ判

任官ニ於テ專任十六人ヲ増加ス(第十九條)

第二 臺灣總督府地方官官制改正ノ件

本案ハ形式上現行規定ノ全部ノ改正ニシテ
實質上亦重要ナル事項ヲ包含ス

現行臺灣總督府地方官官制ニ依レハ地方廳
ヲ別ケテ十二ノ廳ト爲シ廳長ハ奏任ノ官ト
シ部内ノ行政事務ヲ管掌セシメ廳ノ下ニ支
廳ヲ置キ支廳長ハ事務官、警視、屬警部又ハ技
手ノ職トシ廳ノ行政事務ヲ分掌セシメ明治
四十二年勅令第二百十七號ニ依リ街庄社又

台五

ハ數街庄社ニ判任官待遇ノ區長ヲ置キ廳長ノ
指揮監督ヲ承ケ部内ノ行政事務ヲ補助執行セ
シム廳、支廳及街庄社ハ單純ナル行政區劃ニシテ其ノ
地域ニ依リ成立スル公法人ナルニ非ス又明治三十一年律令第
十七號臺灣地方稅規則ニ於テ一定ノ種目ノ地方稅ヲ賦課徵
收シ之ヲ以テ一定ノ費目ヲ支辨スルノ規定ヲ設ケタルモ是レ單ニ
總督ヲシテ該地方費ヲ管理運用セシムルニ過キス要スルニ臺灣ニ
於ケル地方行政ハ總督府自ラ多ク之ヲ擔當シ地方廳ノ之ニ關
與スル範圍狹小ニシテ又地方ニ自治ノ性質ヲ帶フル別段ノ施設ヲ爲
ササルコト現行規程ノ骨子ナリ然ルニ近年行政事務漸ク増進シ且複雜ト

爲り地方ノ民度亦時ニ随ヒテ向上發展シタ
ルニ對シ諸般事務ノ中央集攬ヲ旨トスル從
來ノ主義ハ其ノ施設動モスレハ實際ノ事情
ニ符合ヤス爲ニ往々地方ノ治績良好ナラサ
ルノ弊アリ寧ロ地方廳ノ數ヲ減シテ其ノ地
位ヲ高メ其ノ權限ヲ擴張シテ直接地方ノ事
務ヲ擔任セシメ又地方民ヲシテ地方行政ニ
參與セシムルノ制度ヲ布キテ其ノ地ノ行政
ニ付責任ヲ感得セシムルコト當面ノ狀況
ニ照シテ妥當ノ措置ナリト言フヘシ更ニ又

支廳長ニ充ツル者ハ規定上警察官ニ限ルコ
トナキモ事實上目下概テ警察官タルノ情態
ナルノ結果警察事務ト其ノ他ノ行政事務ト
ヲ混淆シ爲ニ地方行政ノ施爲時ニ割切ナラ
サルノ識アリ此ノ點ニ付テモ亦相當ノ改正
ヲ施スコト刻下ノ要務ナリトス是レ今四改
正ノ眼目ニシテ即チ現在ノ十二廳ノ中東海
岸ニ在ル臺東及花蓮港ノ二廳ノ管内ハ諸般
ノ事情未ク進步セサルモノアルカ故ニ姑ク
之ヲ除外シ其ノ他ノ西海岸ニ在ル九廳及澎湖

湖廳ヲ併合シテ五州ト爲レ州ニ郡及市ヲ置
キ臺北、臺中、臺南ノ如キ大市街地ヲ市、其ノ他
ヲ郡ト爲レ郡ニハ蕃地ヲ除リ、外街又ハ庄
ヲ置キ郡内ノ蕃地又臺東及花蓮港ノ二廳管
内ニモ總督ノ必要ト認ムル地方ニ街又ハ庄
ヲ置キ郡ハ單純ナル行政區劃ニ過キサルモ
州、市及街庄ニハ別ニ律令ヲ以テ定ムル臺灣州制、臺
灣市制及臺灣街庄制ヲ施行レテ之ヲ其ノ行政
區劃ニ依リ成立スル公法人トシ法律、勅令又
ハ律令ニ定ハル事務ヲ處理セシメ一定ノ種

目ノ州税、市税及街庄税ヲ賦課シ此等ノ地方
税其ノ他ノ收入ヲ以テ一定ノ費目ヲ支辨ス
ヘキモノトシ又州、市及街庄ニ協議會ヲ置キ
官選ノ會員ヲ以テ之ヲ組織シ一定ノ事項ヲ
之ニ諮問スヘキモノトス臺東及花蓮港ノ二
廳管内ニハ別ニ律令ヲ以テ定ムル臺灣廳地
方費令ヲ施行シ右二廳ノ管轄區域ヲ通シテ
廳地方費ヲ設ケ總督之ヲ管理スルモノトシ
必要ナル範圍ニ於テ之ニ臺灣州制ノ條項ヲ
準用ス本條ハ斯ノ如キ地方制度ノ設定ニ對

應に且當面ノ事情ヲ考察シテ地方官官制ニ
相當ノ改正ヲ加ヘントスルモノニシテ其ノ
要目大凡左ノ如シ

(一) 臺灣ニ臺北、新竹、臺中、臺南、高雄ノ五州及臺
東、花蓮港ノ二廳ヲ置テ州及廳ノ位置及管
轄區域ハ總督之ヲ定ム(第一條)當局ノ腹案
ニ係ル者五州ノ管轄區域ニ依シハ其ノ面
積及人口ハ内地府縣ノ別ニ伍シテ必スレ
モ遜色アラサルカ如シ

(二) 州ノ長官ヲ知事(勅任)トシ各州ニ事務官(奏

台八

任)ニ人ヲ置、之ヲ内務部長及警察部長
爲シ其所屬ニテヲ置、總、古官ヲ廳長(奏
任)トシ州及廳ヲ通シテ理事官、警視(以上奏
任)視察、屬、警部、技手、通譯、警部補、稅務吏、森
林主事(以上勅任)ヲ置ク(第二條及第十三條)
(三) 知事又ハ廳長ハ總督ノ指揮監督ヲ受ケ其
令ヲ執行シ部内ノ行政事務ヲ管理ス(第五
條)其ノ職務又ハ特別ノ委任ニ依リ管内一
般又ハ其ノ一部ニ關シテ總令ヲ發スル
ハ其ノ權限ハ縣管内ノ靜謐ヲ維持スル一層其

力ヲ要スルトキハ之ヲ總督ニ具狀シ非常
急費ニ際シテハ直ニ當該地方ノ陸海軍ノ
司令官ニ兵力ノ使用ヲ請フハルコトヲ得
(第七條) 所部ノ官吏ヲ指揮監督スルニ
級官廳ノ處令ヲ承領シ又ハ停止スルコト
ヲ得(第八條)

(四) 別ヲ通シテ四十七郡及三市ヲ置キ其ノ名
稱、位置及管轄區域ハ總督之ヲ定ム(第三十
二條) 總督ニ在リテハ其ノ事務ノ分掌セシム
ル爲總長カ總督ノ認可ヲ受テ又總督ヲ直

クコトヲ得(第二十八條)

(五) 作ノ長ヲ郡守(委任)市ノ長ヲ市尹(委任)トシ
市ニ理事官(委任)ヲ置キテ市尹ノ輔佐セシ
メ星北市ニ教師(委任)ヲ置キ郡及市ヲ通シ
テ視學、属、技手(以上判任)ヲ置キ(第三十三條)

第一項乃至第三項)

(六) 郡守又ハ市尹ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ法
令ヲ執行シ部内ノ行政事務ヲ掌理シ所部
ノ官吏ヲ指揮監督ス(第三十六條) 第一項郡
守ハ所在縣ノ處令ヲ承領シ又ハ停止スル

コトヲ得(第三十八條)

(七) 各州管内ノ警察事務ハ郡及市ノ事務ト分

離シ市ニ在リテハ警察署及警察分署ヲ置キ

市ニ關係ナク州ニ於テ直接之ヲ管掌シ(第二十

九條) 郡ニ在リテハ州ノ警視警部、警部補又ハ巡查ヲ

郡ニ配置シテ之ヲ管掌セシメ(第三十三條第四項)

郡守ハ警察及衛生事務ノ執行ニ關シ郡ニ配置

セラルル警察官ヲ指揮監督スルモノトス(第三十

六條第二項)

(八) 郡ニハ總督ノ指定スル藩地ヲ除クノ外街又ハ庄ヲ置

ク總督ハ地方ノ狀況ニ依リ郡内ノ藩地及廳ニ街又

ハ庄ヲ置クコトヲ得街庄ノ名稱及管轄區域ハ總督

之ヲ定ム街ニ街長、庄ニ庄長ヲ置ク街長ノ中一人ヲ限リ兼任

官待遇トシ其他ノ街庄長ヲ兼任官待遇トシ街庄長上官ノ

指揮監督ヲ承ケテ街庄内ノ行政事務ヲ補助執行スル事

六條街庄長待遇官ニシテ當局ニ於テハ之ヲ任免兼任

官及兼任官ノ例ニ依ヒテ處理スルノ趣旨ヤリト言フ

(九) 別ニ定ムルモノヲ除クノ外他ノ勅令中廳ニ關スル規定ハ

州又ハ廳ニ關スル規定トシ廳長ニ關スル規定ハ知

事又ハ廳長ニ關スル規定トス(附則第三項)

第三 臺灣總督府州知事及臺灣總督府廳長ノ

發スル命令ノ罰則ニ関スル件

本條ハ改正臺灣總督府地方官官制第六條ニ
依リ知事及廳長ノ發スル命令ニ或ル程度ノ
罰則ヲ附スルコトヲ得ル旨ヲ規定スルモノ
ニシテ知事ノ發スル命令ニハ他ノ類例ヲ裁
酌シテ二月以下ノ懲役若ハ禁錮均留七十圓
以下ノ罰金又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ
得シメ廳長ノ發スル命令ニハ現行規定ノ同
シク均留又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

台二一

シム

第四 文官任用令中改正ノ件

本條ハ文官任用令第三條ノ二ニ列舉ハル初
任文官即チ同令所定ノ資格及官歴ナキモ各
其ノ職務ニ必要ナル學識技能及經驗ヲ有ス
ル者ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ任用ス
ルコトヲ得ル初任文官ノ中臺灣總督府管林
局長ヲ削除スルモノニシテ是レ該局官制ヲ
廢止スル必然ノ結果ナリ

第五 奏任文官特別任用令中改正ノ件

奏任文官特別任用令：列舉スル諸官ハ五年
以上判任以上ノ官ニ在職シテ行政事務ニ從
事シ判任官五級体以上ノ俸給ヲ受ケタル者
ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用ス
ルコトヲ得今本案ニ於テ（一）同令：列舉スル
諸官ノ中臺灣總督府覆審法院書記長ヲ同府
法院書記長ト改ムルハ高等官官等俸給令ニ
掲クル官名ト一致セムカ爲メニテ畢竟措辭
ノ整理：外ヲナス（二）右諸官ノ中ニ改正臺灣
總督府地方官官制ヲ以テ新置セラルタル即

守、市尹、州理事官、廳理事官、市理事官及州警視
ヲ追加スルハ此等各官ノ地位及職司ニ考ヘ
己ムヲ得サルノ必要アルニ因ル（三）農、園、水
廳官制ヲ改正シテ新置セラルタル同廳理事
官ヲ追加スルモ亦同一ノ事由ニ出ツ（四）臺灣
總督府廳事務官ヲ削除スルハ前記改正地方
官官制ニ於テ同官ヲ廢止シタルニ由ル

第六 臺灣總督府蕃務警視特別任用ノ件

臺灣總督府蕃務警視ノ中ニ航空班ヲ統率シ
テ班番ノ事ニ當ラシムル者ヲ置クコトハ當

向年来ノ計畫ニシテ今回此ノ計畫ヲ實現スル爲藩務警視ニシテ航空機ニ関スル事務ニ從事スル者ハ陸軍將校又ハ海軍將校ニシテ航空機ニ関スル學識経験ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得ルモノトシ此ノ規定ニ依リ陸軍又ハ海軍ノ現役將校ヲ任用スル場合ニ於テハ其ノ官等ハ高等文官轉任ノ例ニ依ルモノトス

按スルニ以上六件ノ中始ノ二件ハ臺灣ニ於テ

ハ中央及地方ノ官制ニ関スル重要ナル改訂ニ爲シ陸ニ地方ノ官制ノ改訂ハ今回律令ヲ改訂始メテ特殊ノ地方制度ヲ實施スルニ伴フモノトシ其ノ當否ハ深ク省察セリルハカウリルコト言フ後ハスト雖當局ノ慎重ナル因ニ依リ其ノ運用宜シキヲ制スルニ於テハ先ク地方ノ設備ヲ收メテ所期ノ效果ヲ舉グルコトヲ得ハル知事ノ廳長ノ發スル命令ノ罰則ニ関スル件ハ其ノ内容ニ於テ別ニ支障ノ虞ナキモ其ノ形式ニ於テ之ヲ地方官官制以外列箇ノ勅令ト

為スハ昨年八月臺灣ニ関スル諸件ニ付本院ノ
決議アリタル所ニ順應セサルヲ以テ右先議ノ
趣旨ニ從ヒ從本ノ通り諒罰則ノ規定ヲ右官制
中ニ存置スルコト當然ナリ仍テ前記單行勅令
案ヲ止メテ其ノ規定ヲ其ノ儘地方官官制第六
條ニ移シ同條ニ二項ヲ追加スルコト可ナリト
認ム右ノ修正ニ對シ當局ニ於テハ柯哥異議ナ
キ旨ノ言明アリタリ其ノ他ノ文官ノ特別任用
ニ関スル三件ハ單ニ字句ノ整理ニ過キリルモ
ノアリ又官制ノ改正ニ伴フ必然ノ結果タルモ

ノアリ然ラサルモ已ムヲ得サルノ必要ニ基キ
別ニ支障ノ虞ナキモトス

之ヲ要スルニ前示六件ノ中四件ハ原案ノ儘一
件ハ上記ノ修正ヲ附シテ之ヲ是認シ一件ハ之
ヲ廢案トスルコトニ決議セラレ然ルハキモノ
ハ思料ス

右謹ニ審查ノ結果ヲ報告ス

大正九年七月十日

樞密院書記官長三上兵治

樞密院議長公爵山縣有朋殿

地方制度、確立ト共ニ中央督府ノ整理ノ必要ヲ認メ

一、從來獨立セル管林局ヲ廢止シ之ヲ殖産局ニ合併セリ唯從來管林局ノ管掌事務中木材ノ搬出製材販賣等ノ事務ハ他ト性質ヲ異ニスルニ依リ別ニ殖産局ニ附屬スル管林所ヲ設ケ專ラ現業事務ニ當ラシムルコトト人

二、警察事務ノ執行ヲ地方廳ノ責任ニ移スルヲ以テ督府ハ主トシテ監督ニ當ルコトセリ隨テ特種ノ官職ヲ存置スル要ナキヲ以テ警務官ハ之ヲ事務官トナシ

地方制度、確立ト共ニ中央督府ノ整理ノ必要ヲ認メ

一、従前獨立セル營林局ヲ廢止シ之ヲ殖産局ニ合併セリ唯從來營林局ノ管掌事務中木材ノ搬出製材販賣等ノ事務ハ他ト性質ヲ異ニスルニ依リ別ニ殖産局ニ附屬スル營林所ヲ設ケ專ラ現業事務ニ當ラシムルコトトス

二、警察事務ノ執行ヲ地方廳ノ責任ニ移シルヲ以テ督府ハ主トシテ監督ニ當ルコトセリ隨テ特種ノ官職ヲ存置スル要ナキヲ以テ警務官ハ之ヲ事務官トナシ

警務局長カ當然警務總長タルヲ止メ總
督ノ特命タル場合ニ限り警務局長トシ
テ執行權ヲ有セシムルコトセリ猶警察
事務ノ監察官ヲ置ク必要ナレト認メ之
ヲ廢止セリ

三、定員ニ於テ事務官^級三名技師七名ヲ減
シタル、外判仕官ハ全數ノ一割ヲ削
之ヲ地方廳ニ移スコトトセリ

一、臺灣ヲ五州ニ分ツ

現制ハ十二廳(臺北、宜蘭、桃園、新竹、
臺中、南投、嘉義、臺南、阿緬、花蓮、
花蓮、澎湖)ナリ内東海岸ノ臺東、花
港ノ二廳下ハ交通不便ニシテ文化未ダ進
マサルヲ以テ大伴現制ノ儘トシ他ノ十廳ヲ
廢シ代フルニ臺北、新竹、臺中、臺南、
高雄ノ五州ヲ設ク

二、州ニハ知事、事務官、理事官等ノ職員ヲ置

キ州ヲ知事官房、内務部及警察部ニ分ツ
知事ハ二等トシ事務官ハ各州ニ名宛トシ
内務部長及警察部長ニ充ツルノ外職ニハ

關シテハ内地府縣ト同様ナリ組織モ亦内地ト大差ナキ只知事官房内ニ稅務課ヲ置テ國稅ノ賦課徵收ヲ掌ラシムルト並ニ港獨特ノ民事關係ト著稱ノ爲メ別ニ係ヲ置クヲ異ニスルノミ

(參照)

現制

改正案



現制ニハ郡市ニ該當スルモノナシ故ニ郡及市ニ付テハ全ク新ナル施設トス現制ニ謂フ所ノ支廳ハ廳長ノ事務ヲ分掌スル補助機關ニ過キス從テ支廳長ハ官名ニアラスシテ職名ナリ

四郡ニハ郡市ニハ市尹、市理事官、市技師ヲ置キ郡市ヲ通シテ視學、屬及技手等ノ職員ヲ置ク

郡守ハ一般普通行政事務ノ外警察事務ヲ掌理セシムルモ市尹ニハコノコトナシ

(參照)

市ハ臺北、臺中、臺南ノ三市トシ郡ハ通シテ四十七郡トス左ノ如シ

臺北州七郡 新竹州八郡 臺中州九郡

臺南州十四郡

高雄州九郡

現制ノ支廳ハ總數ハ十六ナルモ郡ノ設置ニヨリ
七十八支廳ヲ廢止シ東海岸ニ屬スル八支廳ヲ
六支廳ニ改メ之ヲ存置スルモノトス

五市ニ警察署ヲ置キ郡ニ警察官吏ヲ配置ス而シテ
州内適宜ノ地ニ稅務出張所ヲ設ク

現制ニ此ノ事ナク今回新ナル施設ナリ

警察署長ハ市尹ハ關係ナク全ク獨立ノモノトス之
ニ反シ郡ニ配置セラレタル警察官吏ハ郡守ノ指揮監
督ヲ受クルモノトス此ノ點ハ内地ノ組織ト異ル

稅務出張所ハ州ノ財務課ト共ニ内地ノ稅務署

ニ準ルモノトス

クコトヲ得街ニ街長庄ニ庄長ヲ置ク

現制ハ舊地ヲ除ク一般行政區域ニ區長役場
ナルモノ四五アリテ判任待遇ノ區長及書記ヲ
置キ部内即チ舊來ヨリノ街、庄、社ノ行政事
務ヲ補助執行セシム今回之ヲ廢止シ一併則第
二項ニ更ニ其ノ數ヲ整理シ三ノ一トス之ヲ街
又ハ庄ト名ク

街庄長ハ判任待遇ヲ原則トスルモ十人ヲ限り
委任待遇トナスコトヲ得

東海岸ノ二廳下ハ原則トシテ街庄ヲ置カサルモ
廳所在地差ハ内地人ノ移住部落ノ如ク文化ノ
進ミタル地方アルニヨリ斯ル所ニハ街又ハ庄ヲ置

ク見込ナリ

○知事廳長ノ發スル命令ノ罰則ニ關スル件
ハ從來廳長ニ關スル分ハ地方官官制中ニ
挿入セラレタルヲ今出別條ノ勅令トシ知
事ヲ加ヘタルナリ

○文官任用令ノ改正ハ警務局廢止ノ結果ナリ

○臺灣總督府港務所官制及臺灣總督府臨時海港檢疫所官制改正概要

港務所長並臨時海港檢疫所長ノ事務ハ從來總長ヲ以テ之ニ當ラシメタルモ今回ハ知事ノ監督ノ下ニ警務部長ヲシテ之ニ當ラシムルコトトセリ

○臺灣總督府部内臨時職員設置制中
改正ノ概要

本改正ハ營林局ノ廢止ニ伴フ整理ノ林野取締費ヲ臨時費ニシテ經常費ニ移シタル爲之ニ關スル職員ハ總督府官制並地方官官制中ニ組入レタルニ依ル

○奏任文官特別任用令ノ改正並高等官官等俸給令ノ改正ハ總督府官制・地方官官制ノ改正ニ伴フモノトス

○航空機ニ關スルニ勅令ハ航空ニ從事
 ナル陸海軍將校ヲ現役ノ儘ニ番務
 警視ニ任用スルノ途ヲ開クト同時
 陸海軍ノ定員外トナサンカ爲ナリ

臺灣州制、市制、街庄制ノ概要

一州ニ州制市ニ市制街庄ニ街庄制ヲ施行ス

郡ハ單純ナル行政區劃トシ郡制ヲ施カス

州、市、街庄ハ國ノ行政區劃ニ依ルコトトシ何レモ

財團法人ノ性質ヲ有スル公共團體ト爲シ法律、

勅令又ハ律令ニ依リ州、市、街庄ニ屬セシメタル

事務ヲ處理ス

二州、市、街庄ニ徵稅能力ヲ認メ財產權ノ主體タラ

シム

現制ノ上廳ハ此ノ權能ヲ欽キ單純ナル行政區

劃ニ過キス從テ上廳稅ト稱スルモノナク又廳自

體ノ獨立ノ事業ヲ經營ムコトナシ臺灣地方

費ナルモノアルモノハ總督府ノ管理ニ屬シ廳ハ

之ヲ配布ヲ受ケ指定カレタル事業ニ當ルノミナリ
三州、市、街庄ニ諮問機關ヲ置ク

諮問機關ハ之ヲ州協議會、市協議會、街庄協議會ト稱シ協議會員ハ州ニアリテハ總督、市街庄ニ在リテハ知事、廳ニ在ル街庄ノ協議會員ハ廳長ニ之ヲ任命シ任期ヲ二年トシ凡テ名譽職トス

協議會ニ諮問スル事項ハ大要左ノ如シ

一、歳入出豫算ヲ定ムルニ
二、市條例、街庄條例ヲ設ケ

又ハ改廢スルコト
三、州稅、市稅、街庄稅、使用料、手数料

料又ハ夫役現員ノ職權ニ關スルコト
四、借入金ニ關スルコト

五、豫算ニ定ムル以外新ニ義務ヲ負擔シ權利ノ放棄ヲ爲スト

六、廢置分令ノ條ノ財産處分ニ關スルコト
七、基本財産

及積立金、穀、設置管理ニ處スルニ關スルコト

四 街庄ニ街庄長助役ヲ置キ知事（廳ニ在リテハ知事長）之ヲ任命シ其ノ他ノ街庄吏員ハ即守（廳ニ在リテハ廳長）之ヲ任命ス市ニ市吏員ヲ置キ市尹之ヲ任命シ州ニ州吏員ヲ置キ知事之ヲ任命ス

五 州費ヲ以テ警察、警察費、其ノ他ノ警察費ハ凡テ國費ニ歸スルコトセリ

現制ニ於テハ警察費ハ地方稅支辨ナリ今同之ヲ國費ニ移セル現制ニ於テモ警察費ハ金額其ノ他ノ警察費ハ其ノ十分ノ四ヲ國費、補足ヲ仰ギツ、ハハノミナラス之レカ支辨ニツキ然レハ關聯ヲ免ルルコト爲スルナラズト認メタルニ由ル

家費中多額ナル理番費ヲ含ナルコトモ考慮ニ加ヘ
先カ爲ナリ朝鮮ハ初ヨリ之ヲ國庫支辨トセリ

臺灣總督府地方官令ノ概要

東海岸ノ二廳ニ關シテハ大體現制ヲ維持スルヲ
以テ此ノ區域ニ限リ現行地方稅規則ト同様ノ趣
旨ニ依リ廳地費令ヲ設ケ臺灣總督府之
管理ニ當リ内務大卿分州稅ニ關スル規定ヲ
準用セリ

臺灣總督府地方官令ニ伴附則第三項ノ參照

關ニ關スル規定

一明治三十一年八月勅令第一八一號 訴訟ニ關シ國ヲ代表スルノ件

第一條

二明治三十二年十月勅令第四〇一號 臺灣總督府警察官及司獄官練習生

俸給ニ關スル件

廳長ニ關スル規定

一大正六年十月勅令第二〇六號 軍軍救護法施行令第八條

二大正七年四月勅令第七八號 朝鮮臺灣太閤東州又ハ滿州ニ在

ル陸軍軍人ノ服役事務ニ關スル件

三大正八年四月勅令第七〇號

臺灣公立簡易實業學校官制第二條
第二項

四大正八年四月勅令第七一號

臺灣小學校官制第三條第二項

五大正八年四月勅令第七二號

臺灣公學校官制第三條第二項

報

別

現行官制定員改正官制定員増減

波

力 井
内 池
ノ
内

[illegible]

州及廳，部

市長以外總督府部內臨時職員設置制第四條第一號ノリ粗替ノ屬十一名技士十二名アル之ヲ掲載セス

高 臺 臺 新 臺		種 別	花 臺 高 臺 臺 新 臺		種 別
計 維 南 中 竹 北	州 州 州 州 州		計 蓮 東 維 南 中 竹 北	港 港 港 港 港 港 港	
		(警 視 ノ 部)			(理 事 官 ノ 部)
土 木 衛 生 農 業 林 業 水 産 畜 業 計		警 務 部 及 警 務 署 長 警 務 支 隊 長 計	應 務 課 長 ノ 教 育 課 長 勸 業 課 長 技 術 課 長 訓 練 官 出 産 課 所 務 計		
五	一	七	七	五	五
五	一	四	五	五	五
五	一	七	五	五	五
二	一	七	五	五	五
一	一	七	五	五	五
一	一	七	五	五	五
一	一	七	五	五	五
九	三	四	九	五	五

用 員 數 手 一 名 宛 ノ 配 置 ス ル 像 定	郡市ニ於ケル屬、警部及警部補定員配置表															
	州郡市名															
	局															
	警部															
	警部補															
	州郡市名															
	局															
	警部															
	警部補															
	州郡市名															
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																
州郡市名																
局																
警部																
警部補																

州定員分課表

分	別	知事官房									
		知事官房	秘書課	庶務課	文書課	財政課	教育課	衛生課	農林課	土木課	工務課
北	州	知事	秘書長	庶務長	文書長	財政長	教育長	衛生長	農林長	土木長	工務長
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
新	州	知事	秘書長	庶務長	文書長	財政長	教育長	衛生長	農林長	土木長	工務長
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中	州	知事	秘書長	庶務長	文書長	財政長	教育長	衛生長	農林長	土木長	工務長
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
南	州	知事	秘書長	庶務長	文書長	財政長	教育長	衛生長	農林長	土木長	工務長
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
高	州	知事	秘書長	庶務長	文書長	財政長	教育長	衛生長	農林長	土木長	工務長
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
維	州	知事	秘書長	庶務長	文書長	財政長	教育長	衛生長	農林長	土木長	工務長
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

備考 本州は、北、新、中、南、高、維の六州に分かれ、各州に知事官房、秘書課、庶務課、文書課、財政課、教育課、衛生課、農林課、土木課、工務課が設置されている。

市街庄數及一街庄平均面積人口豫定									
現在地名	現在區數	改正期地名	市	街	庄	數	平均面積	平均人口	街庄
北關	五	北關	一	二	三	五	五、二五	二、五九二	五、二五
南關	二	南關	一	一	二	五	五、二五	二、五九二	五、二五
中街	四	中街	一	一	二	五	五、二五	二、五九二	五、二五
義州	七	義州	一	一	二	五	五、二五	二、五九二	五、二五
南義州	六	南義州	一	一	二	五	五、二五	二、五九二	五、二五
高州	五	高州	一	一	二	五	五、二五	二、五九二	五、二五
花蓮港	一	花蓮港	一	一	二	五	五、二五	二、五九二	五、二五
計	四	計	一	二	三	五	五、二五	二、五九二	五、二五

判任文官特別任用令

秘

大正九年七月十四日會議議案

修正決議

書記官長修正案ハ直ニ本案ニ
朱書記入ス

樞密院書記官